



会報

WEEKLY REPORT

2024-25 R.I.会長

ステファニー A. アーチック

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長／村上 道隆

副会長／石 割 昭 浩

幹 事／中 島 慎 也

[四つのテスト] 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3157回 例会報告

2025.3.28

●例会日／金曜日 〈12:30～13:30〉

●例会場／ホテル日航ノースランド帯広

●事務局／帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F
TEL 0155-25-7347

■点 鐘

村上 道隆 会 長

■開会宣言

曾我 浩昌 S A A

■ロータリーソング（奉仕の理想）

■会 食

■会長挨拶

村上 道隆 会 長



皆さんこんにちは。

3月も最後の週となりました。いつもならもうゴルフをしているシーズンですが、今年の様子は少し違います。

先月は私の任期、残りあと3分の1でしたが、来月から残り4分の1となります。

先週22日のIMには、多数のクラブ会員の皆さんに参加していただきありがとうございます。2次会も多くの方が残っていただき、特に女性会員3名全員参加頂きました。その中で当日のパネルディスカッションに登壇した広瀬会員ですが、緊張で大変だったでしょうとねぎらいの意味を込めて聞きましたら、コーディネーターから事前に質問されていたことを指名されたら熱く語ろうと待ち構えていたのに、その質問をスルーされたコーディネーターの南クラブの松田さんに怒り心頭のご様子で、話題がそれのみという熱い押しというか趣味をお持ちの廣瀬会員の一面が垣間見れて楽しいひと時でした。

また、IMの懇親会で荒木会長エレクトから新入会員の紹介があり、なんと木戸会員の息子さんでした。次回の理事会で正式にお諮りしますが、待ちに待った今年度お一人目でたいへんうれしかったです。2次会にも来られ、人当たりのいい好青年という印象でした。まだ30歳代と若く、正式に決まりましたら皆さん優しくお迎えして下さい。

私の任期もあと3か月となりました。先週まで訴えていました新入会員、何とか1名がクリアしそうなので、欲を出してもう一人皆さんお願いします。できれば女性会員をお願いいたします。

簡単ですが、会長挨拶いたします。

■会務報告

中島 慎也 幹事

帯広北・帯広東・音更合同例会開催のご案内

～十勝ロータリー奨学会支給式～

日時 4月25日 午後6時30～7時30分

場所 ホテル日航ノースランド

・5月2日の例会は休会と致します。

・大船渡大規模山林火災支援金をお願いします

□□荒木会長エレクトからの報告

皆さんこんにちは。



今日テーブルの方にIMの報告書をお配りしておりますが、どうやって作っているかなんですが、私が作ったのではなく、AIに作らせました。作った方法なんですが、録音の内容を全部文字起こしして、データを基にAIに2,000文字程度で欠席者向けに面白い内容で書いてくれと指示しただけです。いくつかAIを使っているのですが、一番面白かったのがGROKでした。私がやった作業は固有名詞の修正は若干しましたけども、作業時間は10分程度です。今後、会報等にも活かさせないかと考えておりますので、皆さんご参考までに紹介させていただきました。

■ニコニコボックス

石割 昭浩 副会長

村上 道隆 会長

深井 弘美 会員

秋山 典之 会員

曾我 浩昌 会員

■プログラム

【新入会員卓話】 秋山 典之 会員



皆さん、こんにちは。

本日卓話のお時間をいただきました、北海道電力ネットワークの秋山です。

本日は、「電力安定供給の取り組み」といおうことで、お話をさせていただこうと思います。

堅苦しいタイトルをつけていますが、要するに「停電」についてのお話になりますので、気楽に聞いていただければ幸いです。それでは、よろしくお願いします。

本題に入る前に、簡単に自己紹介させていただきます。

まずは名前ですが、この漢字で「つねゆき」と読みます。誰も読めないのが、今、私の名刺にはフリガナをつけています。

出身は岩内町。1967年（昭和42年）、4月生まれなので来月58歳になります。

現在単身赴任ですが、札幌の自宅には妻と娘と愛犬がおります。たまに帰った時、私を玄関まで迎えに来てくれるのは、愛犬だけです。

職歴ですが、1990年（平成2年）に北海道電力



に入社しまして、配属は旭川でした。旭川の料金課で2年半、その後、同じ社屋の2階から4階に異動して経理業務を2年経験し、1994年8月に札幌の本店に異動となりました。本店には30年いましたが、経理部で15年、企画部の6年を挟んで、もう一度経理部に戻って5年、最後は監査役室で4年勤務し、昨年6月に帯広に参りました。なので、いわゆる転勤は、会社生活35年の中で2回しかありません。

帯広北ロータリークラブには、昨年7月26日の例会から、参加させていただいております。

次に、会社の紹介です。

支店長が交代するたび、2・3年ごとに会社の紹介を聞かされているかと思うので、簡単にお話させていただきます。

私ども「北海道電力ネットワーク株式会社」、長いので「ほくでんネットワーク」と言いますが、「北海道電力」とは別の会社です。

皆さんご承知のとおり、現在は「電力自由化」ということで、「北海道電力」以外にも、ガス会社や携帯電話会社など、「新電力」と呼ばれる色々な会社から電気が買えることになっています。また、発電事業への参入も自由です。

一方で、電力のネットワーク設備、具体的には送電線・変電所・配電線などについては、電気事業者それぞれが別の電線を引くとなれば大きなムダですし、現実的に無理です。

なので、地域の元々の電力会社、北海道であれば「ほくでん」が引き続き所有・管理することになりましたが、ネットワーク会社は、すべての発電・小売事業者に公平でなければならないということで、2020年4月に元の「ほくでん」とは別会社にされました。

なので、私ども、会社名のアタマに「北海道電力」とついてはいますが、「北海道電力」の電気をお客さまにお勧めすることは一切ありませんし、泊発電所のPRをすることも一切ありません。法的にやってはいけないことになっています。

ただ、分社してから5年が経ちますが、世の中には、なかなか浸透していないようです。

いまだに、「ほくでんネットワーク」側に、電気料金の問い合わせの電話が入ったりしております、現場社員の大きな悩みとなっております。

送配電設備を管理する弊社にとって、発電側から受け取った電気をお客さまに確実にお届けするという「安定供給」が最大の使命であり、停電が起きたときの復旧対応も弊社の役割となっています。

続きまして、私が勤めております「道東統括支店」についてです。

色々書いていますが、道東地域で言いますと、以前は、「帯広支店」と「釧路支店」で分かれていて、フラットな体制でしたが、2023年4月に支店体制の見直しを行って、帯広が道東地域の統括支店、釧路支店はその下部組織に位置付けられました。

なので、現在は、十勝管内に加え、釧路・根室管内まで、幅広いエリアを管轄することになっております。

「安定供給確保に向けた取り組み」についてのスライドです。色々ありますが、本日は、停電復旧のところを中心に、お話させていただきます。

ご説明内容は、このスライドのとおりです。

なお、ご説明資料については、弊社の技術部門で作ったモノですが、説明する私は事務系社員ですので、つたない説明になるかと思います。そこはご容赦いただければ幸いです。

はじめは、電力設備についてです。

これは、電気が流れる経路を示したスライドです。

発電所で発電された電気は、送電線で運ばれ、一次変電所、二次変電所を介して電圧を落とし、街中にある配電線から一般のご家庭などに送られます。

なお、大きな工場やビルなどは、配電線を通さずに、送電線で送られることもあります。

点線から右側が、弊社の管理する設備ということになります。

送電設備についてです。

送電線は電圧が高いので、ある程度高いところを通す必要があり、その支持物も街中で見える電柱より背が高く、頑丈なモノが使われています。

左側の「鉄塔」を思い浮かべるかと思いますが、十勝管内では右側の「パンザマスト」もよく見かけられます。ただ、私が職業柄、よく目につくだけで、皆さんは特に気にしてはいないかもしれません。ちなみに電柱と似ていますが、金属製です。

なお、世の中にはいろいろな人がいまして、「鉄塔」マニアの方々もいらっしゃるようです。

(「鉄道」マニアではありません)

これは、弊社が作成した「鉄塔カード」というものです。2023年9月に第一弾を作成し、これは昨年8月に作成した第二弾です。4枚組、カードケース付きで2,500セット作成され、当支店にもノベルティ用に配布されたのですが、実物は全て配ってしまいましたので、残念ながら本日は写真での紹介です。

なお、2,500セット作ったうちの400セットは販売用です。

「ほくでんNW」で直接扱ってはいないのですが、「ライオンネットワーク」という全国の電力NW会社と送電工のPRサイトがありまして、そこで販売しております。

今日見たら、まだ残っていましたので、もし、ご興味がありましたら、ご覧いただければと思います。ちなみに他の地域のNW会社の鉄塔カードも販売しています。

ちょっと話がそれましたが、次は変電所についてです。発電所から、27万5千ボルトや18万7千ボルトといった超高圧で送られてきた電気を一次変電所では、6万6千ボルトに電圧を下げて二次変電所へ送り出し、二次変電所では、さらに6,600ボルトに電圧を下げて、街中



で良く見る配電線へと送り出しています

次が配電設備のスライドになります。

電柱と電線については説明はいらないと思いますが、6,600ボルトの高圧の電気をご家庭で使う100ボルト・200ボルトの低圧に落とすための「変圧器」、電気を流すスイッチとなる「開閉器」、雷対策の「避雷器」なども電柱に乗っています。お客さまへ電気を送る「引込線」と、電気の「メーター」も弊社の設備です。

次に、停電の発生原因についてです。

停電の種類について、3種類記載していますが、自然災害等で設備が故障した際に突発的に発生する停電を、事故停電といいます。

こちらは事故停電の区分についてです。

発電所・変電所・送電線の設備故障による事故を「系統事故」と言いまして、これが起きると広い範囲で停電となります。

系統事故の最たるものが、2018年9月6日の「ブラックアウト」になるかと思います。

配電線の設備故障による事故は（そのまんまですが）「配電線事故」と言いまして、系統事故と比べれば、停電範囲は小さくなります。

このスライドは、事故停電の原因についてです。

配電線事故については、大地に電気が流れてしまう「地絡事故」、もしくは電線がショートする「短絡事故」になるという説明です。

ここからは、事故停電の主な原因についてのスライドが続きます。

これは、樹木の接触によるものです。

左側は倒れた木が電線に寄りかかって、断線に至ったもの。

右側は折れた枝が風で飛んできて高圧線に引っ掛かったものです。

これは、雷による設備の損傷です。

避雷器が割れたり、開閉器が焦げたりしているのが分かるかと思います。

今度は鳥の巣ですね。

春から夏にかけて、電柱に巣を作られることが多くなります。

停電に至る前に取り除くことが大事になりますので、見かけた場合は「ほくでんNW」へご連絡いただくと、非常に助かります。

これは着雪による事故の写真です。

左側は、電線に着雪して、その重みでアームから外れて垂れ下がっているものです。

右側は、電線ではなく木に雪が積もり、枝が垂れ下がって電線に接触しているものです。

着雪による大きな事故として、2022年12月、紋別東線の鉄塔倒壊がありました。

鉄塔の脚から大きく曲がって倒れているのが分かります。

2022年12月22日～24日は、全道で暴風雪となり、紋別の鉄塔倒壊事故だけでなく、全道各地で

設備被害がありました。

十勝地域でも広範な停電が発生しており、写真は、足寄の倒木による事故現場です。

今年は、2月4日に記録的な大雪が降りましたが、気温が低くて雪が湿っていなかった、

また風も強くなかったということで、幸いにも大きな停電はありませんでしたが、改めて、自然の怖さを痛感し、災害への備えの重要さを認識した出来事でした。

その他、車の接触事故で電柱が折れたり、強風で屋根のトタンが飛んできたり、色々な原因で事故停電が発生しております。

ここからは、事故停電が起きた後の復旧についての話になります。

配電線事故の復旧について、ご説明いたします。

配電設備のうち、先ほど電気を流すスイッチだと説明した「開閉器」については、遠隔制御による自動での「入・切」が可能なものがあります。

停電が起きた場合、この自動機能を使って、停電範囲を小さくしているのですが、その仕組みを簡単にご説明させていただきます。

これは、配電線で倒木の接触事故が起こった場合の、復旧ステップになります。

「区間5」で事故が発生すると、電気を流す根元の変電所で地絡を検出し、開閉器を遮断する、つまり電気を流すスイッチを切ります。また、配電線路の全ての自動開閉器も切られます。

ただ電気は切りっ放しではなく、一定時間が経過すると変電所の開閉器が「入」になり、その後、配電線の自動開閉器もNo.1から順番に「入」になっていきます。

この絵で見ると、No.3まで「入」になると、区間4まで電気が流れます。

さらにNo.4の開閉器が「入」になると、区間5に電気が流れますが、倒木はそのままです。

すると、また変電所で地絡を検知しますので、根元から電気が切られ、一度「入」になったNo.1から4の開閉器も再び「切」になります。

ただし、さっきと違って、最後にスイッチが入ったNo.4の開閉器は、スイッチが切れたままでロックされます。

そしてまた、変電所から順番に開閉器が「入」になっていきますが、No.4はロックされていて区間5に電気は流れませんので、地絡が検出されることはなく、区間4までのお客さまは電気が使えるようになります。

No.4の開閉器がロックされると、配電自動化システムは区間5で事故が起こっていると判断します。

区間6以降は電気を流しても大丈夫ということになりますので、配電自動化システムでは、通常は「切」にしている「**」開閉器を「入」にして、逆側から電気を送ります。

これで、区間5を除いたお客さまが電気を使えるようになります。



事故が起きているのが区間5だと特定した後は、人力での事故箇所探査になります。

今回の例のように、倒木事故などであればクルマの巡視で見つかると思いますが、場合によっては電柱に昇ったり、高所作業車を使って点検を行うこともあります。

これは高圧移動発電機車です。

例えば変電所の設備故障などで、復旧まで長時間掛かると想定される場合には、こういった発電機車を使って、応急的に電気を送ることもあります。

その他の取り組みについてです。(※時間押したら簡単に) 分かりづらいですが、訓練の写真です。

事故・災害は起きないに越したことはありませんが、起きた場合に備えた各種訓練も定期的を実施しており、ブラックアウトの復旧訓練も毎年実施しています。

ブラックアウト訓練では、支店に配備されているEV(リーフ)にケーブルをつないで、会議室まで電気を引くという訓練もしています。

これは、全国の電力会社の相互応援の話です。

地球温暖化の影響なのか、自然災害が激甚化していることから、大きな災害があった場合は、全国の電力会社が被災地に応援に行く体制も構築されています。

2018年のブラックアウトの際は、北海道に駆け付けていただきましたし、昨年1月の能登半島地震の際は、北海道からも移動発電機車や高所作業車をもって、応援に行っていました。

カラスの巣の撤去作業の動画を用意してきました。

最後になりますが、ほくでんNWでは、LINEで停電情報の発信を行っています。

あらかじめ選択していただいた地域で停電が発生すると、自動でお知らせするものです。

弊社HPからご登録いただけますので、ご利用いただければ幸いです。

ご説明は以上となります。

つたない説明だったかと思いますが、ご清聴ありがとうございました。



【出席率について】

出席委員会 伊藤 隆志 委員長

皆さんこんにちは。今年度の出席率の3分の2までの現状をご報告とお願いということでお話をさせて頂きたいと思います。本日の出席率は49.12%となっており、今月はちょっと寂しい状況が続いておりますので、来月持ち返していければと思っています。続きまして現状の報告をさせて頂きます。

昨年の7月から今年2月末まで計30回例会の開催がありました。そんな中で平均した数字で出席率59.7%となっており、これにメイキャップ数123回を含めると66.7%で推移しております。毎月ガバナー事務所への報告につきましては、ここに理事会の出席者の方がカウントされますので、会報の方にはもう少し高い数字が掲載されているとは思いますが、今日発表した数字につきましては現状なのかと発表させて頂きました。約60%ということで、今日来られている会員の皆さまは7割から8割以上出席されている方がほとんどですが、出席率が80%以上出席されている方は19名いらっしゃいます。その内100%出席されている方が4名おりますので、残り3か月何とか100%を守って頂ければと思います。僕自身も就任した際に100%目指しますと話しましたが、欠席が続きまして切れてますので、4名の方にはお願いできればと思っております。60%以上出席されている方が34名いらっしゃいますので、メイキャップ入れないで例会出席数になりますので、今現在58名でのカウントとなりますので41名出席頂ければ70%超えますので、数字だけではありませんがひとつの指標となりますので、普段顔の見られない会員の方に声をかけて頂いて残り参加を促して頂ければとご協力お願いします。その中で10%以下の方が8名いらっしゃいますので、僕の方でもお声がけさせて頂きましてもっと参加できるよう促しておりますが、声かけが足りないと思いますのでご協力お願いします。3年以内の会員で30%以下の出席率の方が4名おりますので、入会されて出席がかなわない方がおりますので、フォローアップが足りないのかと思いますのでなるべく多くの方に参加して頂けるよう頑張っていきたいと思っています。僕も入会する時に紹介者から言われたのが、参加することを基本にしっかり時間を作って参加するよう言われたので、来月木戸さんの息子さんが来られた際には、そういった部分もしっかり話をして時間を作るか作らないかは自分自身でありますので、お話をさせて頂きたいと思っております。世界のロータリークラブがどのように出席をとっているのか、時代に合うような方法でできればと考えております。残り3か月1%でも上げていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

■次週のプログラム予定

「ゲスト卓話又は会員卓話」

■閉会宣言 曾我 浩昌 S A A

■点鐘 村上 道隆 会長

例会案内

〈月曜日〉 広尾RC:日高信金広尾支店
帯広南RC:北海道ホテル
〈火曜日〉 芽室RC:めむろーどセミナー
帯広東RC:ホテル日航ノースランド

〈水曜日〉 帯広RC:ホテル日航ノースランド
上士幌RC:川村福祉会館
音更RC:ハビオ木野

〈木曜日〉 足寄RC:足寄銀河ホール21
清水RC:清水町中央公民館
帯広西RC:北海道ホテル

■出席報告/伊藤 隆志 出席委員長

会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席数	メイキャップ	欠席	出席率
					49.12%